

電子情報通信学会

基礎・境界ソサイエティ事業担当副会長 殿

第一種研究会発表参加費免除の申請

〇〇〇研究専門委員会

委員長 〇〇 〇〇

20xx 年 x 月 xx 日

以下の第一種研究会にて発表予定である招待講演者の発表参加費の免除申請の確認をお願いします。

- ・ 対象研究会
- ・ 研専名:
- ・ “(講演タイトル)”, 著者氏名(所属)
- ・ 電子情報通信学会: 会員 非会員 (一方を残してください)
- ・ 実施予定日:(研究会講演プログラム登録締切:xx月xx日)
- ・ 謝金支給の予定の有無:
- ・ 発表参加費免除の理由:

※電子メールにより研究会講演プログラム登録締切り1週間前までに送付下さい。

○発表参加費免除の運用について

- 1) 発表参加費免除の目的は、研専の活動活性化、新たな取り組みへのきっかけ、学会のアウトリーチ等を目的とした活動を補助するためとなります。研究会運営側から招待講演や特別講演などを依頼した場合でも、発表参加費をお支払い頂くことが原則です。
- 2) ただし、発表参加費の免除は、基本的には判断を研専にお任せし、ESS事業担当副会長において適切な運用であるかどうかの確認をします。これらの目的や位置づけを鑑みた上で、発表参加費免除の適切な運用をお願いします。
- 3) 総合大会・ソサイエティ大会などの「一般講演・シンポジウム講演」の発表参加費免除については、大会担当幹事にご相談ください。
- 4) 以上を踏まえて本書類を記入の上、ESS事業担当幹事などの申請先へ提出をお願いいたします。

○免除申請理由の例

- (例1) ○○研究会の招待講演において、○○分野(信学会コミュニティ外)の○○先生に講演を依頼したい。○○先生は○○分野を中心に活躍されており、電子情報通信学会のコミュニティ外の研究者であるが、分野が関連する○○研専の活性化や本講演は学会のアウトリーチに大きく期待でき、発表参加費免除の目的に合致するものと考えられる。以上の理由から、発表参加費免除をお願いしたい。
- (例2) 招待講演者の○○氏は電子情報通信学会名誉員であるが、既に研究の第一線からは退かれており、所属機関などでの発表参加費の支払いは難しいため、発表参加費免除の運用に適していると考えられる。以上の理由から、発表参加費免除をお願いしたい。

手順的な注意:

研究会システムの「発表参加費免除の項目」にチェックを入れてください。遅くとも原稿締切日までに処理をお願いします。

なお、発表申込登録時に発表参加費の支払いに関するメールがシステムから自動で送信されています。免除にする可能性がある場合は、そのメールは無視していただくよう、研究会の幹事さんは講演者の方にお伝え下さい。